



ごあいさつ

杉循環器科内科病院 院長 杉 健 三

昨年は大変重苦しい年でした。3月の大震災と原発事故の災禍は想像を絶するものがあり、その対応も含めたその後の政治の混乱には強い憤りを覚えたものです。さらに、日本の経済的低迷も加わり社会全体が閉塞感に被われてしまっているようです。

しかしながら、そのような状況下でも連帯感を失わず冷静に対処し、復興への歩みを開始した被災地の人々には本当に頑張っていて欲しいと思います。また、純粋な奉仕の心を持って被災地で支援活動された多くのボランティアには深い感動を与えていただきましたし、まだまだ日本も見捨てたものじゃないという希望を見いだせたような気がします。

さて、この4月には診療報酬および介護報酬が同時に改定されますが、先日の発表で見ると、私どもが地域において提供したい医療を行っていくのに十分な報酬体系とはとてもいえない改定となったようです。

そのような中、政府は今『社会保障と税の一体改革』やTPP参加などの施策を次々に打ち出しています。これらへの国の対応によっては、世界に誇れる日本のこれまでの医療制度は根底から揺さぶられ、地域の医療体制は崩壊の危機にさらされかねないと考えます。

昨年は私ども医療者と患者さんも含めた地域の皆様の署名活動などが奏功し、政府が企てた受診時定額負担の導入を阻止することが出来ましたが、今後も医療体制と国民生活を脅かしかねない政策への注視を怠らないようにしなくてはならないと考えています。



杉循環器科内科病院

〒837-0916 大牟田市大字田隈950-1 (誠修高校前)
TEL (0944) 56-1119 FAX (0944) 56-2077
E-mail: info@sugi-hosp.jp URL <http://www.sugi-hosp.jp>

慢性心不全に対する陽圧治療について

副院長 江口 裕之

慢性心不全とは、心臓のポンプ機能が低下した状態であり、種々の心臓の病気や心臓以外が原因で起こります。つまり、病名というよりは心臓が衰えた状態をあらわす、症候名です。心臓のポンプ機能が低下するために全身に十分な酸素が送れず、また全身の血流が滞るために、呼吸困難、息切れ、全身のむくみ、全身倦怠感などの症状がみられます。

治療としては①増悪因子の除去(減塩、減量、禁煙)・運動、②薬物療法、③医療機器を使った特殊治療、④基礎疾患に対する治療があります。しかしこれらの治療によっても、期待しているほどの効果が得られず、時に心不全の急性増悪を繰り返し、徐々に進行して最終的に生命の危険を伴うことがあります。近年、そうした患者さんに対しての有効な治療法として陽圧治療が注目されてきています。

慢性心不全の50%~70%の患者さんに、夜間睡眠中に呼吸が乱れる、止まる、速くなるなどの睡眠呼吸障害(SDB)を認めると言われています。陽圧治療は、二相式気道陽圧ユニット(Adapt Servo Ventilator=ASV)を使用し、睡眠呼吸障害(SDB)を改善することを目的とした治療です。



実際には、患者さんが睡眠時にマスクをつけて就寝し、器械(ASV)から圧をかけた風を送り込むことで、患者さんの自然な呼吸状態に近くなるように、器械がすべて自動で動きます。したがって、患者さんがすることはマスクをつけて寝るだけという非常に患者さんの負担が少ない治療です。

睡眠時にASVを使用することで、SDBに伴う酸素不足を改善し、夜間睡眠中の心臓の負担を軽減することで、睡眠の質の向上と心臓の機能を改善することが期待できると考えられおり、慢性心不全に対する陽圧治療は、今後もその有効性に高い注目を集めている治療です。

ASVを使用した患者さんの声

良い面

- ・息切れ感の改善
- ・呼吸困難の改善
- ・四肢の冷感の改善
- ・疲れにくくなった
- ・むくみがなくなった
- ・尿量の減少(夜間頻尿の改善)
- ・良く眠れる
- ・寝汗をかかなくなった
- ・入院が減った

悪い面

- ・マスクの装着がいや
- ・圧が合わない
- ・呼吸しにくい
- ・眠れない



第1回 透析セミナー開催

透析室 師長 二宮 裕恵

8月28日(日)午前10時から、やぶつばき地域交流センター「ばるす」で第1回透析セミナーが開催されました。透析患者さんと、その家族が68名、スタッフの参加は34名でした。

院長挨拶のあと、永年透析患者さん6名の方へ記念品を贈呈されました。記念品は今年の災害を思い起こし、実際に役立てて頂けるようなラジオ付き時計です。皆さん喜んでいました。

私の方から、透析室患者満足度調査と避難訓練の結果と評価についての報告をしました。また、管理栄養士より『役に立つ食事のポイント』と題して栄養指導を含む話は透析ライフに役立つものでした。

そして、福腎協事務局長の中島由希子さんが「透析の過去・現在・未来」の講演で長い透析の歴史を紹介されて、患者さんは理解されたことでしょう。また、ご自身の長期透析から腎移植に至った経験をお話されたことが、それぞれの患者さんの胸に響くものがあり熱心に聴いていました。

その後、理学療法士、作業療法士による「一日一歩体操」を365歩のマーチに合わせて手足を動かし、全員一丸となって楽しくエクササイズを行いました。

最後に深水先生が「透析合併症の予防とその対策」というテーマで、日常の食生活で重要なのは、水分・塩分・リンの自己管理が大切で、十分な透析が長

生きの秘訣であると話され、患者さんも一生懸命にメモをとってありました。患者さんからの声「やっぱり 水と塩けやんね…自分にもあてはまるよ」「あらためて、また心を一からもどしていかなとね…大変勉強になったよ」と感慨深く聞かれたようでした。多くの方から「良かったよ、ありがとう」の声を頂き、私達も嬉しく思います。

また、今回お世話になった、やぶつばき地域交流センター「ばるす」は、環境にも恵まれ木の香りが心を癒し、患者さんも「いい所ですね」と感心してありました。第1回目の透析セミナーは、充実した内容で、患者さんにも大変好評で終了することができました。

企画、準備から当日まで、スタッフの皆さんに協力頂き、やぶつばきの職員の方々にもお世話頂きありがとうございました。



訪問看護 はじめました

訪問看護師 主任 清田 玉美



杉循環器科内科病院は、昭和62年に開院されて以来、23年経過しましたが、この間に日本中に高齢化の波が押し寄せ、大牟田市に於いても同じで、当院の外来・腎センターでも現実として、対策の必要性に迫られています。

また入院されて回復されても、独居であったり、家族が居ても仕事で忙しかったり、退院に踏み切れない方も多く見受けられます。「家に帰りたい」という気持ちに添って、「住み慣れた自宅で療養を続け、自分らしく過ごす」ことを願う患者さんやその家族への支援ができればと、訪問看護を始めました。平成23年7月から始め、徐々に利用される患者さんが増えてまいりました。私が今まで外来・病棟看護師を経て見えていなかった事が、在宅へ行ってみて患者さんを理解することが少しずつでも出来るようになってきたように思います。心不全を起こし入退院を繰り返す患者さんからは、「看護師さんが、家に来てくれて早目に受診や入院を勧めてくれるので酷くならなくて済むので助かります。」高齢で独居の患者さんは、「体調を見ながら安心してお風呂に入れます。」などありがたい言葉をかけて頂きます。これからも患者さんやその家族が安心して療養生活が自宅で過ごせる支援をさせていただきます。

訪問看護の内容は、次のようなことをいたします。

看護サービスのおもな内容

- ❖ 血圧や体温、脈拍などを測定し、高齢者の状態を観察する。
 - ❖ 身体の清拭。
 - ❖ 床ずれの防止や手当て。
 - ❖ 入浴や排泄の介助。
 - ❖ 医療器具の管理。
 - ❖ お薬の管理及び指導。
 - ❖ 日常生活のアドバイス、指導。
- ……など

医療保険の場合

利用者負担割合	利用料金
医療保険1割負担の方	1回 560円
医療保険2割負担の方	1回 1,110円
医療保険3割負担の方	1回 1,670円

・ 訪問日数は週3回が限度です。
 ・ 利用時間は1日1時間30分までです。
 ※ 交通費は別途必要になります。

介護保険の場合

所要時間	利用料金
30分未満	1回 343円
30分～1時間	1回 550円
1時間～1時間30分	1回 845円

※ 交通費は大牟田市は無料、それ以外は別途必要になります。

要介護認定の方は介護保険での訪問看護になります。それ以外の方は医療保険での訪問看護になります。

お申し込み方法 杉循環器科内科病院の医師か看護師又は、病院窓口にご相談下さい。

訪問日と訪問時間 月曜日～土曜日 9:00～17:00(祝祭日・お盆・年末年始を除く)

訪問リハビリテーションとは、通院が困難な方に対して理学療法士がご自宅に訪問し、住み慣れた環境の中でその方の状況に応じた運動や精神的サポートなどのリハビリを行ない、より良い生活を送って頂くための支援サービスです。

身体能力が向上しても、自宅へと帰ることが困難な方がいらっしゃるかもしれません。ご本人やご家族から、自宅に帰ってからの生活に対して「また、こけたらどうしよう」「介護の仕方がわからない」「寝たきりになるかもしれない」といった不安の声が数多く聞かれます。そのような方々に、安心してその人らしく生き生きとした生活を、ご自宅で送って頂きたいと思い訪問リハビリを始めました。

ご利用される方・ご家族・医師・看護師・ケアマネージャー・ヘルパーの方々と連携をとりながら活動を行なっていくと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

訪問 リハビリテーション はじめました

理学療法士
山本 奈美



リハビリテーションの おもな内容

- ❖ 日常生活動作の練習
(歩行・食事・入浴・排泄など)
- ❖ 介護・介助方法の検討・アドバイス
- ❖ 外出の練習

- ❖ 家事動作の練習(調理・洗濯・掃除など)
- ❖ 福祉機器・福祉用具・補装具の提案・適合評価
- ❖ 住宅改修(手すり・段差解消など)の提案・アドバイス
- ❖ 趣味活動
- ❖ ご自宅での運動についての提案・アドバイス

基本料金

訪問リハビリテーション費 ・20分間リハビリテーションを行った場合	305円/回
--------------------------------------	--------

※交通費は大牟田市は無料、それ以外は別途必要になります。

※医療保険ご利用の場合は、各種保険の自己負担分(1~3割)となります。

加算料金

短期集中リハビリ実施加算 ・退院・退所日又は要介護認定を受けた日1ヶ月超え~3ヶ月以内	200円/日
短期集中リハビリ実施加算 ・退院・退所日又は要介護認定を受けた日~1ヶ月以内	340円/日
サービス提供体制強化加算	6円/回

要介護認定の方は介護保険での訪問リハビリになります。それ以外の方は医療保険での訪問リハビリになります。

お申し込み方法

杉循環器科内科病院の医師か看護師又は、病院窓口にご相談下さい。

訪問日と訪問時間

火曜日・金曜日 9:30~16:30(祝祭日・お盆・年末年始を除く)

健康診断のご案内

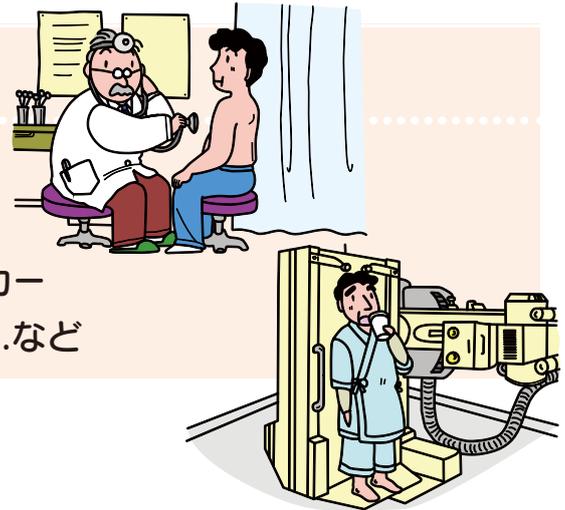
事務室 主任 境 慎一郎

高血圧症、脂質異常症、糖尿病などの生活習慣病の多くは、ほとんど自覚症状が無く発症し進行します。また生活習慣病が進展すると動脈硬化に基づく心血管疾患や脳血管疾患など命に関わる重篤な疾患の危険性も高くなります。そこで生活習慣病を始め、頻度が高く、予防措置が可能な疾患を早期に発見し、早期治療に導く事が健康診断の意義となります。自分の健康状態を適切に把握し、保健指導する事で「良い健康」を保持すると共に、より質の高い健康状態へと健康を増進し、疾病の発症そのものを予防する事も健康診断の目的になっています。

当院では現在、年間2000を超える健康診断を実施しております。特定健診や雇用時健康診断、各企業が毎年1回受診を義務づけられている定期健康診断、地元企業や施設に直接出向き各種項目を行う現地健診など様々な健康診断を取り扱っております。また個々が希望する検査項目を選択して実施する人間ドックも行っており、疾病の早期発見、早期治療、生活改善の促進を促し予防するといった役割を担っています。

主な検査項目

- 心電図
 - 大腸カメラ
 - 胸腹部CT
 - 胸部X線
 - 腹部超音波
 - 頭部CT
 - 肺機能
 - 血圧脈波
 - 各種腫瘍マーカー
 - 胃カメラ
 - 頸動脈エコー
- ...など



健康診断は予約制になっておりますので、事前に当院受付窓口にご連絡の上ご予約下さい。
また検査項目や内容に関してご不明な点がございましたらお気軽にご相談ください。

杉の子 子育て 支援会

平成23年10月16日(日)、子育て支援会より、大人27名、子ども28名の計55名の参加で阿蘇ミルク牧場へ行ってきました。

コスモス満開の澄んだ秋空の下、パン作り体験やソーセージ作り体験、牛の乳搾り体験など、普段ではできない体験を親子でさせていただきました。

羊や小動物など、動物の触れあい体験もありました。羊の後を追いかけたり、フェレットを恐る恐る抱いたり、あるいは恐がったり…

好奇心全開で遊ぶ子どもたちの姿が見うけられることができました。

帰りは行きでは元気いっぱいであった子どもたちの殆んどが眠りについていました。

親子で楽しい時間を過ごす事ができ、とても思い出に残りました。

看護師 田尻真紀子



当院ソフトボール部は、創部8年目を迎え、毎年優勝を狙えるチームへと成長しています。

2011年も『優勝旗争奪ソフトボール大会』にて18チームがエントリーする中、熱戦を繰り広げ、見事優勝することが出来ました。

明るく、楽しくプレイしながらチームワークを磨き、ソフトボールを通して地域社会との交流を深めていければ幸いです。

今後も、笑いあり、涙あり、毎試合ドラマのあるソフトボール部の応援をよろしくお願いします。

リハビリ室 上葉 亮太

ソフトボール活動報告



平成23年11月5日(土)・6日(日)の2日間、韓国の釜山へ職員旅行に行ってきました。

出発日当日は、あいにく曇り気味の天候でしたが、釜山での道中は雨が降ることもなく、観光を楽しむことが出来ました。日本との違いを強く感じたのが、買い物をしたときです。ホテルだけでなく、ほとんどの場所で日本語の会話ができることには驚きました。夜は韓国カルビを食べ、ホテルに戻り、カジノ体験や、韓国式エステなど貴重な体験をすることが出来ました。

2日目は市場に行き海鮮チゲ鍋をおいしく頂きました。新鮮な魚介類や屋台が立ち並んだ市場はたくさんの人で活気に満ちていました。あっという間に2日間が過ぎ、充実した時間を過ごすことが出来ました。職員同士の絆もさらに深まったと思います。



職員旅行

in
鹿児島

事務室
木下 愛幸

11月13、14日、職員旅行で鹿児島へ行ってきました。

鹿児島は福岡と比べて、気候が温かく、南国に来ているようでした。

初日に行った水族館イオワールドでは、室内にイルカのプールがあり、イルカの生態に関するクイズを交えたイルカのショーはとてもおもしろかったです。

その日に泊まった旅館には有名な砂蒸し風呂があり、私自身も体験したかったのですが、時間が過ぎるのがあっという間で、気付いたらもうすぐ宴会の時間だったので、泣く泣く砂蒸し風呂は断念し、温泉を堪能する事にしました。砂蒸し風呂もさることながら、温泉も最高でした。宴会も盛り上がり楽しい一時でした。

次の日は薩摩酒造文化資料館で足袋を履いたかっぺいお姉さんに焼酎の出来るまでというのを、酒蔵内を見学しながら教えていただきました。でも、私が一番印象に残っているのは、酒ではなく

ハートの石です。普通の石畳に紛れてハートの石が3つ隠れていて見つけたら幸せになれるそうなのです。どこにあるかは秘密です。

この二日間新鮮なことばかりでとても楽しむことが出来ました。私は初め、少し人見知りしてしまうので、ちょっと心配でしたが、そんな必要もなく話すことが少なかった他の部署の方とも仲良くなることができ、とても嬉しかったです。また来年も行きたいです。

